

参 考 ～感染症対策・お役立ち情報～

① 外国語に対応した受診ガイド



「あなたのその症状、感染症かもしれません！」

お客様が体調不良の際の医療機関受診を、多言語でサポートするガイドブックです。
<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/iryo/kansen/tagengoguide.html>



② 宿泊施設で役立つ各種マニュアル



「社会福祉施設等におけるノロウイルス対応標準マニュアルダイジェスト版」

ノロウイルス対応標準マニュアルをわかりやすくまとめたものです。
<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/assets/diseases/gastro/pdf-file/norodigest20.pdf>



「家庭や施設における二次感染予防ガイドブック」

手洗い方法や、おう吐物の処理、消毒液の作り方等についてまとめた資料です。
<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/iryo/koho/kansen.files/nijikansen3.pdf>



「東京動画」正しい手の洗い方

ガチャピン・ムックが正しい手洗い方法をわかりやすく紹介しています。
<https://tokyodouga.jp/10000000579.html>



③ 最新の感染症発生状況



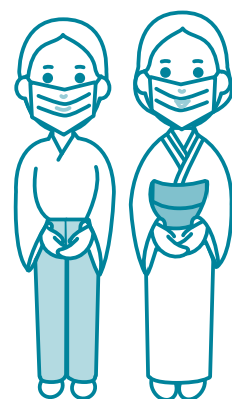
「厚生労働省検疫所 FORTH」(厚生労働省)

世界各国で流行している感染症や検疫所からのお知らせが掲載されています。
<https://www.forth.go.jp/index.html>



④ 事業所の感染症対応力向上を図るために

「感染症理解のための従業者研修」 「感染症BCP(業務継続計画)の作成」
「感染症流行情報の収集」 「おう吐物の処理の演習」 など

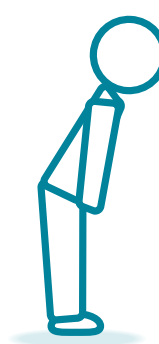


本ガイドラインは「宿泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン」(第1版)
(全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会・日本旅館協会・全日本シティホテル連盟
2020年5月14日発行(2020年5月21日一部改訂))を基に、大分県福祉保健部健康づくり
支援課や保健所の協力・監修により作成しました。

2020年9月1日発行 第1版

大分県旅館ホテル生活衛生同業組合青年部

宿泊施設における 新型コロナウイルス対応 マニュアル (第1版)



INDEX

P 1・・・はじめに

P 2・・・**接触感染・飛沫感染防止策**

新型コロナウイルスに対応するための・・・8つの対策 日々の健康管理と感染予防教育、必要な備品類の点検

- 1 従業員の日々の健康管理と感染予防の習慣づけ
- 2 接触感染・飛沫感染予防対策のルール作り
- 3 非常時の対応

P 4・・・**日々行う接触感染・飛沫感染防止策**

場面ごとに確認しましょう！

P4・・・出発前のお願い

- 送迎時
- 入館時(ロビー等)
- チェックイン

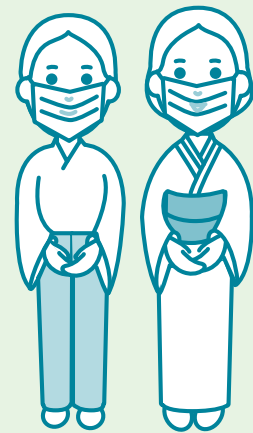
P5・・・エレベーター

- 客室
- 大浴場

P6・・・宴会場 食事処

P7・・・部屋食 ビュッフェ チェックアウト

P8・・・清掃等の作業 トイレ 従業員等の休憩スペース



P 9・・・**緊急時に備えた接触感染・飛沫感染防止策**

お客様を迎える宿泊施設としての心構え

- 1 お客様と従業員への周知徹底を
- 2 マニュアルに基づき適切な対策・対応を
- 3 万全な対策で緊急時は落ち着いた対応を

P10・・・**資料-1** 新型コロナウイルス及び感染症対応マニュアル

P12・・・**資料-2** 聞き取りシート

P13・・・**資料-3** 患者発生時の対応方針メモ

裏表紙・・・参考～感染症対策・お役立ち情報～

はじめに

本マニュアルについて

政府の緊急事態宣言が2020年5月25日に解除され、感染拡大防止と経済活動の再活性化を両立させる新たなステージに入りました。

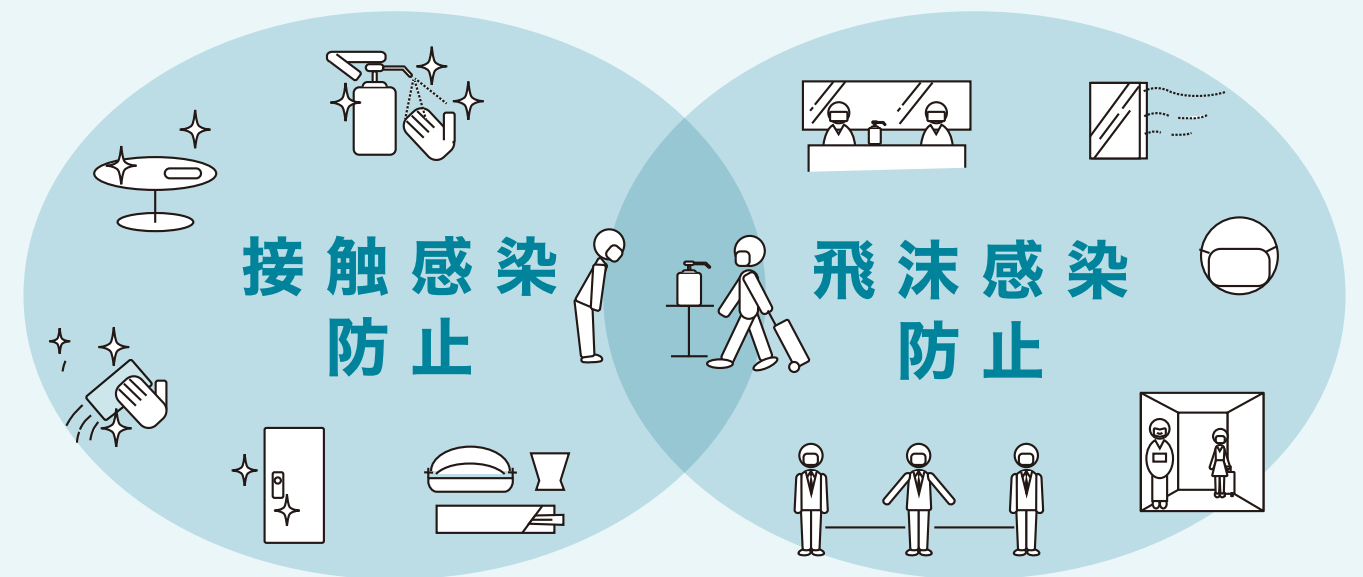
手洗いや咳エチケット、マスクの着用といった新しい生活様式が日常生活に定着する中、お客様に心地良いひと時をお過ごしいただけるよう旅館業として感染予防への取り組みを進める必要があります。コロナ禍における「新しい旅のエチケット」としても、ご宿泊いただくお客様へ「感染予防対策へのご協力」をHP等で事前に告知し、宿泊施設側も適切な予防対策を実行していく「新しいおもてなしの形」を作っていくかなければなりません。

「密閉、密集、密接」の3つの密が重ならないよう、宿泊施設においては「接触感染」「飛沫感染」を徹底して防止することがとても重要です。

本マニュアルは大分県や保健所との連携の下、旅館・ホテルの現場の声を取り入れ、「感染防止の8つの対策」をはじめ、「日々行う対策のポイント」「緊急時の心構え」「感染症対応マニュアル」等を現状に即して作成。各施設が万全な対策・対応を行うことで、安心・安全にお客様をお迎えできる事を目指しております。

なお、今後も状況を踏まえながら本マニュアルは適宜見直してまいります。

守って安心、お客様とつくるすてきな「おおいた」



感染防止対策への心構えとして

具体的な対策の検討にあたっては、以下の点に留意してください。

新型コロナウイルス感染症の主な感染経路は「接触感染」と「飛沫感染」です。

各施設ごとに動線や接触のリスクを評価・検討し、有効な対策を共有しましょう。

●「接触感染」リスクの高い箇所の特定と対策

高頻度で接触するパブリックエリアの家具や機器(フロントデスク、テーブル、椅子の背もたれ、ドアノブ、スイッチ、電話、テレビ、リモコン、タッチパネル、レジ、蛇口、手すり、エレベーターのボタン、自動販売機など)は特に注意が必要。頻繁な除菌や手指の消毒・使い捨て用品の活用・非接触の工夫などによる万全な対策を。

●「飛沫感染」リスクの場面の特定と対策

密閉・密集・密接の3密を避ける。換気の対策、人と人の距離の確保や、密集を避ける工夫、間仕切りパネルの活用、マスク着用の徹底、また大声を出す場所の見極め等を行い、万全な対策を。

新型コロナウイルスに対応するための・・・8つの対策

日々の定期的な消毒を欠かさず、
お客様や従業員がいつでも
使えるように施設内に消毒液を
設置しましょう

**お客様が使った後の備品類や
手が頻繁に触れる共用部分等の
消毒を徹底しましょう**

共用する物品を最低限にし
手や口が触れる物は
適切に洗浄及び消毒又は
使い捨てにしましょう

マスクの着用や手洗い・消毒の徹底、
また対人距離の確保や
時間差での利用などを促し
密を防ぎましょう

対面する場所は距離をとり
(距離は2mを目安に、最低1mを保つ)
又は間仕切りなどで
飛沫感染を防止しましょう

施設内及び客室は常に換気に留意し
外気導入などの設定をして
ウイルスを室内に留まらせない
対策をしましょう

各施設の入口に必ず消毒液を設置し
お客様や従業員の手指の消毒の徹底、
またチェックイン時や従業員の
検温も徹底しましょう

**お客様や従業員の中に
無症状感染者がいる可能性を踏まえて
常に感染防止策を取りましょう**

日々の健康管理と感染予防教育、必要な備品類の点検

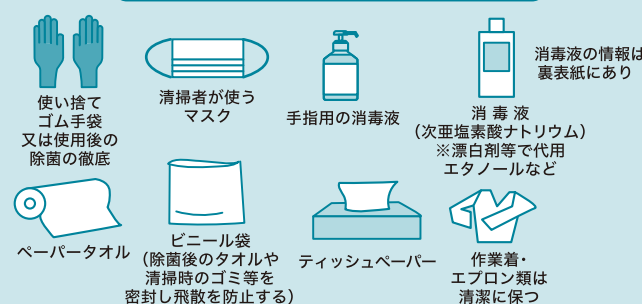
1 従業員の日々の健康管理と感染予防の習慣づけ

- ① 体温の測定と記録
- ② 発熱などの症状がある場合に所属長への連絡と自宅待機の徹底
- ③ 以下の場合には所属長に連絡の上保健所に問い合わせ
 - ・ 体温37.5度以上の熱が4日以上継続した場合
(解熱剤を飲み続けなければならない場合を含む)
 - ・ 強いだるさや息苦しさがある場合
 - ・ 基礎疾患（糖尿病、心不全、呼吸器疾患（慢性閉塞性肺疾患など））がある方、透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤などを用いている方で、風邪の症状や37.5度以上の発熱、強いだるさや息苦しさが2日程度続く場合
- ④ 自らの感染予防対策の徹底と習慣づけを
 - ・ 出勤時、トイレ使用后、売場・厨房・製造加工施設への入場時には手洗い、手指の消毒をこまめに行う。
 - ・ 基本マスクを着用し、マスクがない時に咳をする場合にはティッシュ・ハンカチや袖等で口や鼻を被覆。
 - ・ 通常の清掃に加え、コロナ及び感染予防対策として人が手に触れる箇所や飛沫感染が疑われる箇所への徹底的な除菌などによる拭き取り清掃を確実に行う。（詳しくはP4からの詳細を参照）

2 接触感染・飛沫感染予防対策のルール作り

- ① 対策方法・対策箇所・対策人員を確認・検討する
- ② 対策の備品類の準備・補充、管理場所を確認し共有する
- ③ 各担当者ごとの日常の作業と報告、管理を徹底する
- ④ 非常時の対応ルールを決めておき、トレーニングを行う

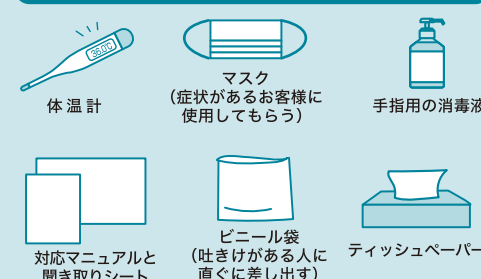
日々の清掃に欠かせない備品



3 非常時の対応

- ① 検温でお客様の熱が37.5度以上ある場合はP10のチャートと聞き取りシートを活用し、適切な対応を行う
- ② おう吐や下痢があった場合は①を行い、防護服を着用して右図通りに感染予防に努める

特にフロントに準備しておきたいもの



緊急時は!! (嘔吐物がある場合)

- ①嘔吐物には触れずに、
上からシートなどで覆う
- ②周辺に立ち入りができないように
囲いをする又は立ち入り禁止など
の札を立てる
- ③保健所の指示に従い処理をする

緊急時に備えておくもの



日々行う接触感染・飛散感染防止策

場面ごとに確認しましょう！

お客様をお迎えする場面から、各施設での感染予防のポイントを
確認し実施・徹底をしましょう



出発前のお願い

お客様へ事前に感染予防対策を行なっている事を伝え、協力していただく



対策の周知徹底

自社HPに「出発前のお願い」を掲示(チェックイン時の検温やマスク着用等のお願い等)



出発前の検温をお願いする

出発前の自宅での検温をお願いし、発熱がある場合は来館を控えていただく

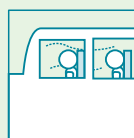
送迎時

車内での感染を防ぐため、ドライバーとお客様の間を遮蔽し、換気・消毒をこまめに行いましょう



間仕切る

送迎車の運転席と後部座席の間にビニールシート等で仕切りを設置



車内の換気

送迎時は車内の窓を開け換気または外気を導入する



車内の消毒

送迎時の前後には車内の消毒をする

入館時(ロビー等)

お客様へ感染予防対策を行なっている事を伝え、必ず検温の協力をお願いしましょう



検温

お客様への検温を必ず行う(発熱がある場合はP11「資料-2」に基づき適切な対応を)



消毒の徹底

入口及びロビー内に手指の消毒設備(アルコール等)を設置する

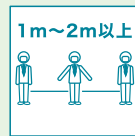


消毒の徹底

館内各所に消毒設備を設置し、お客様へ頻繁な手指の消毒をお願いする

チェックイン

チェックイン時のお客様が集中し、密になる可能性があります。間隔を広げるための印を床に入れ、間仕切りを設置。チェックイン場所の変更や新しい仕組みを導入するなど密を減らしましょう



密にしない

間隔を空けた待ち位置の表示など、宿泊客同士の距離(できるだけ2mを目安に(最低1m))を保つ



チェックインの場所の検討

客室での個別チェックインも視野に入れながら、密を避ける対策を検討する



間仕切る

フロントデスクはお客様との距離を保ち、アクリル板・透明ビニールカーテンなどの遮蔽対策をとる



モバイルの活用

モバイルによるプリチェックインの導入等



紙への記入から電子化へ

宿泊カードのオンライン化



備品類の消毒

フロントデスク、筆記具等の頻繁な清拭消毒等



工夫により接触を減らす

従業員による説明ではなく、文書の配布や動画の紹介等を導入



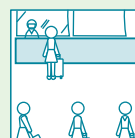
新しい方法の導入

生体認証やモバイル端末によるキーレスシステムの導入



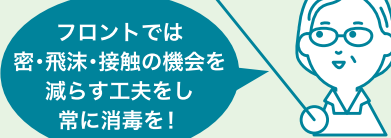
消毒の徹底

返却されたルームキー・キーカードの消毒徹底等



密の回避

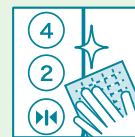
(団体旅行や修学旅行の受入れ時)チェックイン時は代表者がまとめてチェックインを行い、ツアー参加者は一つの場所に固まらず、分散して待機を行うようお客様へお願いする



フロントでは
密・飛沫・接触の機会を
減らす工夫をし
常に消毒を！

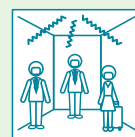
エレベーター

共有スペースのエレベーターは、ボタン類の消毒を徹底。定員数の制限で密を回避しましょう



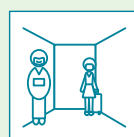
ボタン類の消毒

エレベーター内や押しボタンの頻繁な清拭消毒



利用者数の変更

重量センサーの調整(少ない人数でブザーが鳴る)



密を避ける

エレベーター内が過密状態にならないよう乗車人数を制限等

客室

ドアノブや備品のこまめな消毒、換気を行い、接触感染・飛沫感染を防止しましょう



ドアノブの消毒

ドアやノブは入室の際必ず手に触れる箇所です。しっかりと清拭消毒



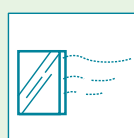
設備の消毒

客室清掃時に、消毒剤(洗剤・漂白剤等)を使って表面を清拭 ※テレビ・空調のリモコン、金庫、部屋の照明スイッチ、スタンド、座卓、押し入れ、冷蔵庫、電話機、トイレ、水栓等



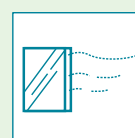
備品の消毒

コップ、急須、湯飲み等は消毒済みのものと交換。使用済アメニティは廃棄、館内用スリッパは使い捨てに変える又は消毒を徹底等 ※ドライヤー、座椅子、座布団、スリッパ等



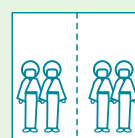
空調による換気

空調機を外気導入に設定



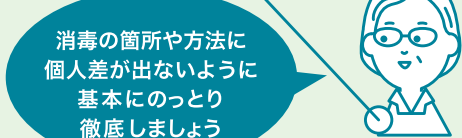
窓による換気

一定時間ごとに客室の窓を開けての換気をお客様へお願いする



相部屋になる場合は事前に同意を得ていただく

同居者以外との相部屋の場合は、相手の同意を得ることに留意。また、団体旅行や修学旅行の場合、ツアー出発前に、事前に参加者への相部屋である事の確認をお客様へお願いする



消毒の箇所や方法に
個人差が出ないように
基本にのっとり
徹底しましょう

大浴場

お客様が集中しやすいため、密の回避、換気・消毒を徹底しましょう



密の回避

入場人数の制限や時間差によるご利用の案内等の検討



ドアノブの消毒

ドアノブ、セキュリティロック等の清拭消毒



ロッカーの消毒

定期的なロッカーの清拭消毒



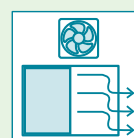
タオルは客室から持参

浴場での貸しタオルは多くの人が触れる可能性があるため中止し、客室から清潔なタオルの持参をお客様へお願いする



備品の消毒

浴室内の備品等の清拭消毒



浴室内の換気

浴室内の換気強化



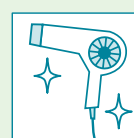
密の回避

宿泊人数に応じて洗い場の椅子を1つ飛ばしに置くなど、密を避ける工夫をする



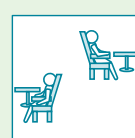
接触回避

浴室、浴槽内における会話を控えることをお客様へお願いする



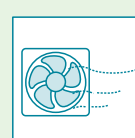
備品の消毒

ドライヤー等備品の清拭消毒、化粧品・ブラシ等は持参をお客様へお願いする



休憩室の密の回避

休憩室では一度に休憩する人数を制限し、椅子の間に距離をとるなどレイアウトを変更。対面で会話をしないように工夫



休憩スペースの換気

休憩スペースは、常時換気することに努める



備品の消毒

休憩室の共有する物品(テーブル、いす等)は、定期的に消毒する



備品の消毒

休憩室の使用後の備品(ソファ、マッサージ機器、体重計等)の清拭消毒時の協力をお客様へお願いする

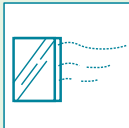


ボタン類の消毒

水や飲料サービス機器のボタン等の定期的な清拭消毒等

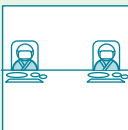
宴会場

入口にお客様用の消毒液を配置。密になりがちな宴会場では、マスクの着用や換気などを徹底しましょう

	密の回避 参加人数、滞在時間の制限、席の間隔に留意		マスク着用の徹底 従業員のマスク（適宜フェイスシールド）着用		マスク着用をお願い お客様に食事開始までマスク着用をお願いする
	接触の回避 発熱、咳、かぜ症状のあるお客様は入場を遠慮していただくようお願いする		消毒の徹底 入場時には、お客様に手指の消毒を必ずしていただく		備品の消毒 座布団、座椅子、脇息、お膳等は開始前、宴会終了後の消毒徹底
	飛沫の回避 横並び着席の推奨（座席レイアウトの変更）		換気 宴会場の換気強化		接触・飛沫の回避 お酌や盃の回し飲みは控えるようお客様へお願いする
	接触を減らす 従業員と宿泊客の接触を極力減らす（従業員からの料理説明を料理説明メモに変更等）		お料理は一人盛りに 鍋料理や刺身盛り等は一人鍋、一人盛りに極力変更、従業員が取り分け等		盛り付け担当者の衛生管理 料理の盛り付け担当者の衛生管理を徹底する
	担当従業員の衛生管理 料理を運んだり会場を行き来する従業員の衛生管理を徹底する		下膳と料理提供は別に 下膳と同時に料理提供をしない等		手洗い・消毒の徹底 下膳作業後の手洗い、手指消毒の徹底

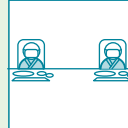
食事処

入口にお客様用の消毒液を配置。テーブルの間隔を広くし、時間差の利用や人数制限など密を避ける工夫をしましょう

	マスク着用をお願い お客様に食事開始までマスク着用をお願いする		マスク着用の徹底 従業員のマスク（適宜フェイスシールド）着用		接触の回避 発熱、咳、かぜ症状のあるお客様は入場を遠慮していただくようお願いする
	消毒の徹底 入場時には、お客様に手指の消毒を必ずしていただく		備品の消毒 利用の都度、備品等を清拭消毒		飛沫の回避 テーブルの間隔を広げ、横並びや正面回避の着席を促す
	密の回避 参加人数、滞在時間の制限		換気 会場の換気強化		接触・飛沫の回避 お酌や盃の回し飲みは控えるようお客様へお願いする
	接触を減らす 従業員と宿泊客の接触を極力減らす（従業員からの料理説明を料理説明メモに変更等）		お料理は一人盛りに 鍋料理や刺身盛り等は一人鍋、一人盛りに極力変更、従業員が取り分け等		盛り付け担当者の衛生管理 料理の盛り付け担当者の衛生管理を徹底する
	担当従業員の衛生管理 料理を運んだり会場を行き来する従業員の衛生管理を徹底する		下膳と料理提供は別に 下膳と同時に料理提供をしない等		手洗い・消毒の徹底 下膳作業後の手洗い、手指消毒の徹底
	テーブルの消毒 グループ毎に食事後のテーブル等を消毒	食事処では密を回避しながらお客様同士や従業員との接触を減らしましょう 			

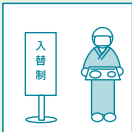
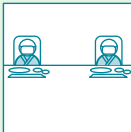
部屋食

出入りする従業員を極力減らし、接触感染を防ぎましょう

	運搬用機器の消毒 運搬用機器の手に触れる部分の清拭消毒		飛沫の回避 正面着席を避ける、横並び着席にするなどして配膳する		消毒 客室入室後、手指消毒をしてから料理を並べる
	接触を減らす できるだけ一度に料理を提供し、従業員の客室への入室回数を少なくする		マスク着用の徹底 従業員のマスク（適宜フェイスシールド）着用		接触を減らす 従業員と宿泊客の接触を極力減らす（従業員からの料理説明を料理説明メモに変更等）
	お料理は一人盛りに 鍋料理や刺身盛り等は一人鍋、一人盛りに極力変更、従業員が取り分け等		消毒 下膳作業後の手洗い、手指消毒の徹底		コップの交換など 客室内コップの交換、冷蔵庫内飲料提供の中止、又は消毒を徹底した上での配置

ビュッフェ

入口にお客様用の消毒液を配置。時間差の利用や人数制限、テーブルの間隔を広くするなど密を避けるよう工夫し、備品の消毒等も徹底しましょう

	密の回避 ビュッフェ方式をセットメニューでの提供に代えることを検討		トンぐ類は共用しない ビュッフェ方式で食事を提供する場合、トンぐ類は共用しないよう徹底。料理を小皿に盛って提供する、スタッフが料理を取り分けるほか、お客様ひとり一人に取り分け専用のトンぐやお箸を渡し、使い終えたトンぐ類はその場で回収・消毒する		
	マスク着用をお願い お客様に食事開始までマスク着用をお願いする		接触を減らす 従業員のマスク（適宜フェイスシールド）着用		接触の回避 発熱、咳、かぜ症状のあるお客様は入場を遠慮していただくようお願いする
	手指の消毒の徹底 入場時には、お客様に手指の消毒を必ずしていただく		接触の回避 従業員と宿泊客の接触を極力減らす		飛沫の回避 テーブルの間隔を広げ、横並びや正面回避の着席を促す
	密の回避 入場人数、滞在時間の制限、席の間隔に留意		トレイの消毒 使用したトレイを清拭消毒してから次の宿泊客に提供		マスク着用の徹底 自席で食事中以外（宿泊客のテーブル間の通行や移動等）のマスク着用をお客様へお願いする
	消毒 料理提供担当者の手指消毒の徹底		共用備品の消毒 ボタンやピッチャーの持ち手の清拭消毒、スタッフが手袋を着用の上注ぐ		消毒 下膳担当者は、手指消毒をしてから清潔な食器や料理の補充・提供
	テーブルの消毒 グループ毎に食事後のテーブル等を消毒	食事会場では テーブルの配置替え等を 検討し、対人距離をとる 工夫も重要です 			

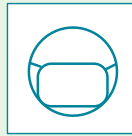
チェックアウト

非対面の手続きなども検討し、飛沫感染を防ぎましょう

	消毒 フロントスタッフの手指消毒、返却後のキーの消毒		飛沫の回避 フロントデスク上にアクリル板等を設置する		接触の回避 カード決済による非対面のチェックアウト手続きを検討する
---	--------------------------------------	---	--------------------------------------	---	---

清掃等の作業

清掃時はマスク・手袋等を必ず着用して行いましょう



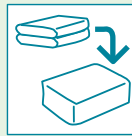
マスク着用の徹底
客室の布団上げの際、マスクを着用し、使用後のリネン類は、回収後に人が触れないように密閉保管



マスク着用の徹底
客室清掃時のマスク・使い捨て手袋の着用



使用済み浴衣等は交換
客室で使用した浴衣、室内スリッパ等はすべて洗濯・消毒済みのものと交換



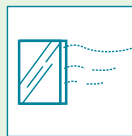
使用済みタオルはまず密閉
客室の使用済みタオルは、回収後に人が触れないように密閉保管し、洗濯・消毒



ゴミは密閉して処理
客室のゴミはビニール袋で密閉して処理



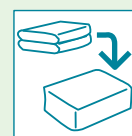
備品の消毒
浴室内の設備・備品を清拭消毒



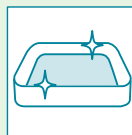
換気
浴室清掃時に換気し、完全に空気を入れ替える



設備・備品の消毒
大浴場の脱衣室内の設備・備品を清拭消毒、ロッカー内部も清拭消毒



接触の回避
大浴場の使用済みタオルは密閉保管し、洗濯・消毒



浴槽水の消毒
大浴場の浴槽水等の消毒の徹底



館内清掃は市販の洗浄剤で
館内は市販されている界面活性剤含有の洗浄剤や漂白剤を用いて清掃する



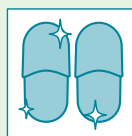
床や壁は通常清掃で
手が触れることがない床や壁は、通常の清掃で良い



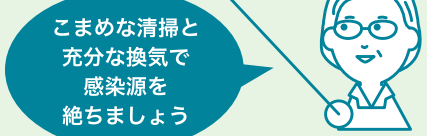
共用部分の消毒
館内の通常の清掃後に、不特定多数が触れる環境表面を、始業前、始業後に清拭消毒することが重要であり、ドアノブやエレベーターのボタン、階段の手すり、フロントデスク、ロビー内の家具、共用パソコンなどは、定期的にアルコール液で拭く



自販機の消毒
自動販売機は自販機ボタン、取り出し口の頻繁な清拭消毒



スリッパの消毒
宿泊客用スリッパ等は使用後の清拭消毒、又は使い捨てに変更



こまめな清掃と
十分な換気で
感染源を
絶ちましょう

トイレ

感染リスクが比較的高いと考えられるため特に注意して行いましょう



便器内は通常の清掃で
便器内は、通常の清掃が良い



共用部分の消毒
不特定多数が接触する場所は、清拭消毒を行う



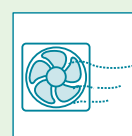
蓋を閉めて流すよう表示
トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示する



ペーパータオルの設置
ペーパータオルを設置するか、個人用にタオルを準備する



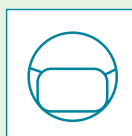
ハンドドライヤーの中止
ハンドドライヤーは止め、共通のタオルは禁止する



換気
常時換気をオンにしておくなど換気に留意

従業員等の休憩スペース

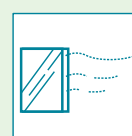
時間をずらして利用する等工夫をし、密にならないように注意しましょう



マスク着用
休憩室を使用する者はマスク着用



密の回避
一度に休憩する人数を減らし、対面で食事や会話をしないようにする



換気
休憩スペースは、常時換気することに努める



共用部分の消毒
共有する物品（テーブル、イス等）は、定期的に消毒する



手洗いの徹底
従業員が使用する際は、入退室の前後に手洗いを

緊急時に備えた接触感染・飛散感染防止策 お客様を迎える宿泊施設としての心構え

新型コロナウイルス及び感染症対策の実施を事前に告知する

1 お客様と従業員への周知徹底を

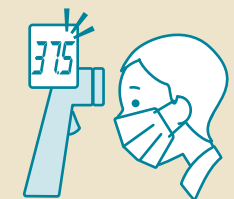
- 自社HPに感染症対策の実施を告知し（検温・マスク着用をお願い等）施設ご利用の際のご協力を事前にお願ひしましょう。
- フロントや施設内の各所に、感染症対策の実施と協力のお願いを掲示し、お客様・従業員ともに周知徹底を図り、対策を実行しましょう。
- これまでにない感染症予防対応のために、下記のような文章を規約・約款等に追記しておきましょう。
「当旅館（ホテル）では、感染疑いのあるお客様に対して予防対策等の要望をさせていただきます。施設からの要望にご了承いただけないお客様につきましては、他のお客様のご迷惑となりますので、施設利用をお断りさせていただきます。」
- 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱に十分注意しながら、宿泊客等の名簿を適正に管理しましょう。



施設関係者及び従事者の対策・実行の徹底

2 マニュアルに基づき適切な対策・対応を

- 本マニュアルのP4から紹介した、場面ごとの「日々行う接触感染・飛散感染防止策」の執行と定期的に客観的な検査・評価・指導を取り入れ、対策の見落とし等を防ぎましょう。
- チェックイン時の対応はP10の「資料－1」をもとに、お客様の検温の徹底を行い、緊急時はマニュアルに沿って速やかな対応を行いましょう。
- 本マニュアルに基づき、必要に応じてお客様へご協力・対応をお願いし、すべてのお客様が安全・安心な旅ができるよう心がけましょう。
- いざという時にすべての関係者がスムーズに対応できるように、施設全体で連携をして日頃から実践を想定したトレーニングを重ねておきましょう。



緊急時を想定した事前の準備が活かされます

3 万全な対策で緊急時は落ち着いた対応を

- P10の「資料－1」の「新型コロナウイルス及び感染症対策マニュアル」に基づき、適切な対応をとり、保健所または医療機関への連絡が必要な状態になります。緊急時のために、チャート内の「電話」の欄に、各施設ごとの最寄りの保健所名・電話番号を事前に記入しておきましょう。また、緊急時に想定される最寄りの医療機関の連絡リストを制作し、施設内で共有しましょう。
- 緊急時は二次感染予防の情報として、対応状況やお客様・対応者の情報が重要となります。P13の「資料－3」の「患者発生時の対応方針メモ」を活用し、情報を記入しておきましょう。
- 感染症結果が陽性だったお客様に対応したスタッフについて
接触したお客様が「陽性」だった場合、対応したスタッフは一時的に自宅待機とし、速やかに医療機関にてPCR検査を受けることが必要となります。
検査結果が「陽性」の場合、医療機関・保健所の指示に従い、療養期間を設け、その後、潜伏期間や今後の発症の可能性も視野にいれ医師の許可を以て職場に復帰できます。



新型コロナウイルス及び感染症対応マニュアル

国が定める
新型コロナ対策
として

チェックイン時に必ず検温
又はお客様から申告があった場合

検 温
症 状

検温していただいた
熱が**37.5度**以上ある場合

※お客様に体温計で測っていただく場合は、貸付前後に体温計を
しっかり消毒し、対応者は手洗いとうがいを行います。

咳

嘔吐・下痢

発 疹

※嘔吐・下痢があった場合、お客様が近づかない対策をとる（最下部「消毒」の欄を参照）

待 機

ひとまず速やかに個室又は図のような場所へ 他のお客様への接触・飛沫感染に注意をしながら誘導し、待機をお願いする

待 機 場 所 の 確 認 ・ 確 保

※状況に応じた対応を事前に決めておく

① 隔 離 室

② お客様の
お車の中

③ お客様の
お部屋

④ ロビーの場合
他のお客様から
離れた場所

説 明
記 入



右図の「聞き取りシート」を用意し
お客様に「発熱がある場合は保健所の指示により、聞き取りシートにご記入をお願いします。
症状により保健所又は最寄りの病院へ電話による問診を行っていただきます」と伝え、
記入後「聞き取りシート」の問①のAとBの枠内のチェックの状態で判断をします。

チェックが **A** にある

保 健 所 へ 連 絡 を す る

旅館ホテルから保健所へ電話をし、
宿泊施設 お客様の連絡先と状態を保健所へ伝える

保 健
所 名

電 話
番 号

チェックが **B** のみ にある

最寄りの病院へ連絡。病院の指示に従う

事前に病院の連絡先リスト(症状別)を用意しておき、共有する

(緊急時に備え最寄りの保健所の連絡先を右記から選び記入をしておく)

(24時間・365日対応)

電 話

問 診

保 健 所 から お 客 様 へ 直 接 電 話 が か か る。

保健所と直接お話をしていただき、その指示に従っていただきます。

お 客 様

いつ頃から
熱がありますか？
味覚・嗅覚に
違和感がありますか？

保 健 所

対 応

病 院 へ 移 動

(お客様の車または、ホテルがタクシーを呼ぶ)
※同伴者も保健所の指示に従う

部 屋 で 一 晩 待 機

感 染 の 可 能 性 な し

そのままご宿泊いただく

感 染 有 り

【感 染 の 可 能 性 有 り】の場合は下記へ一報 (お客様の同意をとったうえで連絡をする)
大分県旅館ホテル生活衛生同業組合 TEL 0977-22-0401

【注意】消毒対応に当たるスタッフは、必ずマスク・手袋・エプロンを装着し、保健所の指示による適切な消毒・除菌を行う。また、それらの装備を日頃から準備・点検をしておくこと

保健所の指示に従ったお部屋の消毒
(お客様がお帰りになった後の対応)

※消毒はお部屋だけでなく、お客様が通った所や触った可能性のある箇所も必要です。
接触者も含め、記録を取るなどあらかじめ把握しておく必要があります。

立入禁止

嘔吐・下痢の場合
二次感染予防の対策として

他のお客様が近づかないように張り紙やシートで
覆うなどして出来るだけ早く消毒をします。

消 毒

聞き取りシート 新型コロナウイルス感染の疑いがある場合

※お客様と直接連絡が取れる 連絡先 ()
電話番号(携帯等)を伺っておく (本人)

お名前 () 性 別 (男 ・ 女) 年 齢 (才)
ご住所 () 連絡先 (家族) ()

① どのような症状があるか下記の問いにお答えください

該当があれば☑チェックをし、()内にご記入をお願いします

体温は何度ですか？ ()℃

以下にチェックがある場合は、保健所へ相談 **A**

- ☐ 2週間以内に海外渡航歴がある (国名:)
- ☐ 2週間以内に新型コロナウイルス感染症の患者と接触歴がある

以下にチェックがある場合は、最寄りの医療期間を受診 **B**

- ☐ 強いだるさや息苦しさがありますか？
- ☐ 糖尿病・心不全・呼吸器疾患の基礎疾患がありますか？
又は透析患者、免疫抑制剤や抗がん剤の投与をされていますか？
- ☐ 咳が出ますか？ () 日前から
- ☐ 味覚や嗅覚に違和感がありますか？
- ☐ 薬の服用がありますか？
- ☐ 妊娠していますか？
- ☐ 嘔吐や吐き気がありますか？
- ☐ 下痢の症状がありますか？

現在の症状をお書きください ()
その症状はいつからですか？ () から

② 何名様でご宿泊ですか？ () 名様

③ チェックアウトのご予定はいつですか？ () 月 日 予定

ご記入後はフロント又は担当者へご連絡ください (電話番号)

最寄りの保健所はこちら (24時間・365日対応)

保健所	管轄市町村	電話番号
大分市保健所	大分市	097-536-2222
東部保健所	別府市・杵築市・日出町	0977-67-2511
国東保健部	国東市・姫島村	0978-72-1127
中部保健所	臼杵市・津久見市	0972-62-9171
由布保健部	由布市	097-582-0660
南部保健所	佐伯市	0972-22-0562
豊肥保健所	竹田市・豊後大野市	0974-22-0162
西部保健所	日田市・九重町・玖珠町	0973-23-3133
北部保健所	中津市・宇佐市	0979-22-2210
豊後高田保健部	豊後高田市	0978-22-3165

最寄りの保健所を事前に確認をし、口々にチェックを入れておきましょう！



聞き取りシート 新型コロナウイルス感染の疑いがある場合

※お客様と直接連絡が取れる 連絡先（ ）
電話番号(携帯等)を伺っておく (本人)

お名前()	性 別 (男 ・ 女)	年 齢 (才)
ご住所()	連絡先 (家 族) ()	

① どのような症状があるか下記の問いにお答えください

該当があれば☑チェックをし、() 内にご記入をお願いします

体温は何度ですか？ ()℃

以下にチェックがある場合は、**保健所へ相談**

A

- ☐ 2週間以内に海外渡航歴がある (国名:)
- ☐ 2週間以内に新型コロナウイルス感染症の患者と接触歴がある

以下にチェックがある場合は、**最寄りの医療期間を受診**

B

- ☐ 強いだるさや息苦しさがありますか？
- ☐ 糖尿病・心不全・呼吸器疾患の基礎疾患がありますか？
又は透析患者、免疫抑制剤や抗がん剤の投与をされていますか？
- ☐ 咳が出ますか？ (日前から)
- ☐ 味覚や嗅覚に違和感がありますか？
- ☐ 薬の服用がありますか？
- ☐ 妊娠していますか？
- ☐ 嘔吐や吐き気がありますか？
- ☐ 下痢の症状がありますか？

現在の症状をお書きください ()
その症状はいつからですか？ () から)

② 何名様でご宿泊ですか？ () 名様

③ チェックアウトのご予定はいつですか？ (月 日 予定)

ご記入後はフロント又は担当者へご連絡ください (電話 番号)



最寄りの保健所はこちらから(24時間・365日対応)

保 健 所	管 轄 市 町 村	電 話 番 号
大分市保健所	大分市	097-536-2222
東部保健所	別府市・杵築市・日出町	0977-67-2511
国東保健部	国東市・姫島村	0978-72-1127
中部保健所	臼杵市・津久見市	0972-62-9171
由布保健部	由布市	097-582-0660
南部保健所	佐伯市	0972-22-0562
豊肥保健所	竹田市・豊後大野市	0974-22-0162
西部保健所	日田市・九重町・玖珠町	0973-23-3133
北部保健所	中津市・宇佐市	0979-22-2210
豊後高田保健部	豊後高田市	0978-22-3165

最寄りの保健所を事前に確認をし、□にチェックを入れておきましょう！

患者発生時の対応方針メモ

宿泊名簿は必ず全員記載の徹底。各々の連絡先を必ず明記していただくこと。
グループ・家族全員の記入をしていただくこと

お客様情報

- 事業所名「 」
- お客様の名前「 」住所()
- 本人連絡先() 家族連絡先()
- ルームNO() 対応日時 () 対応場所()
- グループ・家族等・団体名簿「 」

対応者情報

- 施設内感染症対策対応責任者
- 【昼】氏名「 」連絡先()
- 【夜】氏名「 」連絡先()
- 対応した職員 ※対応するものを極力制限する
- 氏名()連絡先()
- 氏名()連絡先()
- 氏名()連絡先()
- 氏名()連絡先()
- 対応処理道具(バケツ、消毒液、手袋等、マスク、防護服等)の保管場所、管理責任者について
- 保管場所(階)
- 管理責任者 氏名() 連絡先()

対応状況

- 体調不良者の待機場所(宿泊した部屋以外を使う場合)
- (階) 例) 1階ロビーフロント前の椅子
- 体調不良者の案内経路(待機場所から、出入口まで)
- 道順やエレベーター等の利用方法、どの出入口に案内するかを整理しましょう。
- 待機場所→()→()→()→ 出入口()
- 医療機関への移動手段 ()
- おう吐物の(有・無) 場 所 処理状況
- 保健所の記録 保健所名(東部保健所:0977-67-2511)
- 連絡先:部署名 担当者「 」
- 医療機関 名称 連絡先 医師名「 」
- その他、個別対応方針について(自由記載欄)